

中国 権威主義体制の弊害を 「無害化」する通商ルール構築を ～対中ビジネスの中期的安定性を確保するために～

中国は、一党独裁、社会主義市場経済体制という独特の政治が法を優先する体制をとっているといわれており、さらには2015年以降、国家安全法や反スパイ法等により国家安全を優先する傾向がみられます。

一方で、中国と世界はともに、安定的なルールの基礎の上でのグローバル化によって繁栄を遂げてきました。

中国ビジネスの安定性を確保するために、権威主義体制の弊害を無害化するルール交渉を成功させるべく、民間からの論点設定を政府に具体的に示すことが不可欠です。今回は、中国の異質な経済体制とそれに起因する法的不安定性・予見不可能性のリスク、また、国際通商ルールが実効的なものになるための規律づけの可能性や中国経済の今後の見通し等についてご講演いただきます。

さらに続く討論を通じて、日本、関西企業がいかに中国を理解してビジネスを継続するのか、そのヒントとこれからの日本経済を考える上での中長期的な視点について議論していきます。

皆さま、ぜひ会場へのご参加をお待ちしております。



講師

学習院大学 経済学部 教授

渡邊 真理子 氏

【講師紹介】

1968年生まれ。東京大学経済学研究科博士号（経済学）取得。1991年にアジア経済研究所入所後、2013年より現職。1996-1998年香港大学商学院留学、2006-2008年北京大學光華管理学院訪問学者。専門は、中国経済、応用ミクロ経済学。

次第

- ① 基調講演 「権威主義体制の弊害を「無害化」する通商ルール構築を」
(学習院大学 経済学部 教授 渡邊 真理子 氏)
- ② パネルディスカッション
 - ・ 渡邊 真理子 氏（再掲）
 - ・ 木村 福成 氏（APIR上席研究員／慶應義塾大学経済学部教授／東アジア・アセアン経済研究センター(ERIA)チーフエコノミスト）

3月11日月
15:30-17:00

対面 50名
オンライン
200名

参加費無料

お申込みはこちら

お申し込みの受付は

3月7日(木)17:00まで

となっております。



グランフロント大阪タワーC
7F 弊所会議室 or B2F 貸会議室